

# 宮城県感染症発生動向調査情報

2022.10.24 ~ 2022.10.30 - 第43週 -

令和04年11月04日発行

## 1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週
水痘			5 0.71		2 1.00		7 0.12	210				
流行性耳下腺炎	1 0.25					2 0.07	3 0.05	69				
感染性胃腸炎	9 2.25	23 2.30	9 1.29	8 1.00		39 1.44	88 1.52	9,455	◎	○	○	◎
手足口病	8 2.00	8 0.80	6 0.86			11 0.41	33 0.57	4,965	◎	◎	◎	○
伝染性紅斑						1 0.04	1 0.02	43				
突発性発しん	1 0.25	1 0.10	3 0.43	2 0.25	1 0.50	6 0.22	14 0.24	1,000				
ヘルパンギーナ		3 0.30	4 0.57				7 0.12	811	レ			
インフルエンザ	5 0.71	1 0.06	1 0.09		1 0.25	1 0.02	9 0.09	34				
咽頭結膜熱			1 0.14			1 0.04	2 0.03	258				
流行性角結膜炎							0 0.00	76				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.50	1 0.10		1 0.13		2 0.07	10 0.17	505				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎						1 0.20	1 0.08	24				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	10 2.50	20 2.00	16 2.29			34 1.26	80 1.38	1,045	◎	レ	○	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)					1						
	川崎病											
	不明発疹症					2						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

大崎管内 女性1名  
石巻管内 女性1名  
仙台管内 男性4名  
結核(無症状病原体保有者)  
気仙沼管内 男性1名(第42週), 男性1名, 女性1名  
仙台管内 男性2名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 女性2名

5類感染症: ウイルス性肝炎

仙台管内 男性1名(第42週)  
カルバペネム耐性腸内細菌感染症  
塩釜管内 男性1名(第41週, *Serratia plymuthica*)  
仙台管内 男性1名(第37週, *Klebsiella aerogenes*)  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
仙台管内 男性1名  
侵襲性肺炎球菌感染症  
仙台管内 女児1名※  
百日咳  
塩釜管内 女性1名(第42週)

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 3,546名  
仙台市 3,405名

※女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南管内で警報レベルを継続中です。

[水痘]

気仙沼管内で注意報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第40週採取分 (10.3~10.9)	中 間 報 告 第41週採取分 (10.10~10.16)	第42週採取分 (10.17~10.23)
RSウイルス	3件	2件	3件
パラインフルエンザウイルス1型	2件	3件	0件

## 4. 今週のコメント

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症】

インフルエンザの流行は、例年11月下旬から3月まで続きます。2020年および2021年はインフルエンザの患者数が激減しましたが、今年前半では新型コロナウイルス感染症が拡大する前と同程度の流行が起きました。国内では10月から水際対策が大幅に緩和され、国際的な人の往来が増加していることに加え、過去2年国内での流行が無かったため免疫を持つ人が少ないことから、今年はインフルエンザ流行のおそれがあります。

全国ではインフルエンザの患者報告数が4週連続で増加しているほか、患者が報告された地域も前週から4増えて26都道府県となりました。今週は県内でも仙南、塩釜、大崎、気仙沼、仙台管内から報告がありました。また、県内の新型コロナウイルス感染症患者報告数は11月2日に2,026人となり、約2ヶ月ぶりに2000人を超え増加傾向が続いています。

今シーズンは新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の可能性が高いと言われています。ともにワクチン接種が予防に有効ですので、本格的なインフルエンザ流行シーズンを迎える前に計画的なワクチン接種を検討しましょう。また、引き続きマスクの着用や手洗いなど感染予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

